

山本先生が国際学会で発表～マドリードとラスベガスにて、光線医療研究を世界に発信～

2025年3月21日(金)から24日(月)にかけて、スペイン・マドリードにて第40回欧州泌尿器科学会(EAU2025)が開催され、当センターの山本新九郎先生が登壇し、光線力学診断(Photodynamic Diagnosis: PDD)に関する最新の研究成果を発表しました。マドリードはスペイン王室の歴史や壮麗な建築、プラド美術館などに代表される芸術文化の薫り高い都市であり、ヨーロッパ全体の医学・学術の潮流が集う場所でもあります。

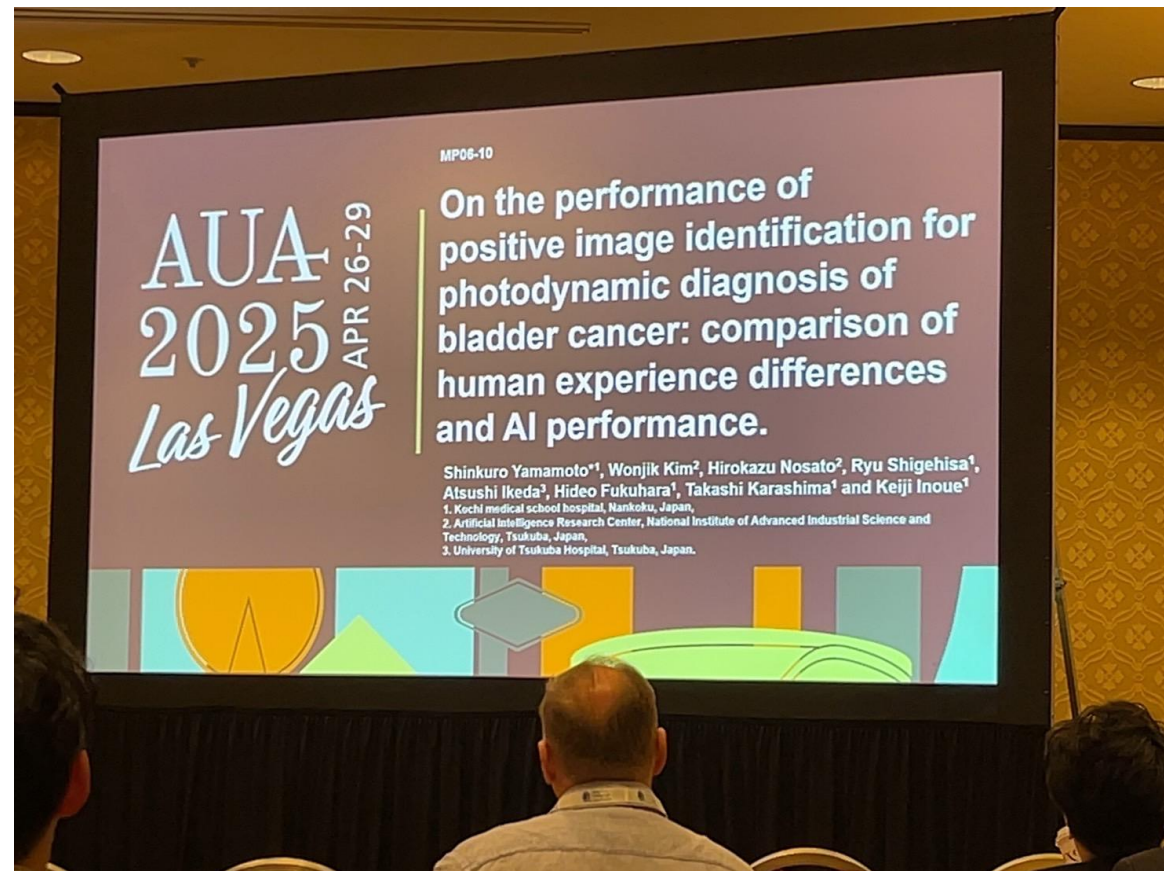
会期中は、世界各国の泌尿器科医・研究者が一堂に会し、最新技術について熱い議論が交わされる中、当センターの取り組みが国際的にも関心を集め、活発な質疑応答が行われました。長時間の移動を経ての参加ではありませんでしたが、現地では共同演者の先生方とも無事に合流し、対面での情報共有や今後の展開について意見交換を行う貴重な時間となりました。

さらに、2025年4月26日(土)から29日(火)には、アメリカ・ラスベガスにて米国泌尿器科学会(AUA2025)が開催され、山本先生が「光線医療と人工知能(AI)を融合させた診断支援技術」に関する研究発表を行いました。ラスベガスは世界有数の観光都市として知られ、夜にはネオンが輝き、ベラージオの噴水ショーやショービジネスでにぎわう街並みの中で、国際学術会議という知的な場が形成されていることは大変ユニークで刺激的な経験でした。華やかな街の空気感を肌で感じながら、多くの研究者や他施設の先生方との密な交流が実現し、今後の共同研究の可能性も広がる実りある時間となりました。

今回のAUAには、高知県立あき総合病院の研修医・市村尚也先生も参加されました。若手医師が世界規模の学会に自らの目で触れ、最前線の知見や雰囲気を感じ取することは、今後の成長にとってかけがえのない経験であると確信しています。光線医療センターとしても、こうした国際的な場に若い人材が積極的に関わることを大いに歓迎し、高知県の医療、ひいては日本全体の医療の未来を切り拓く力になってくれることを期待しています。

今後も光線医療センターでは、地域医療と教育機関との連携のもと、革新的な診断・治療技術の研究開発を推進し、高知県から全国、そして世界へとつながる医学的価値の創出を目指してまいります。





光線医療 関連発表・講演

下記の光線医療関連の学会・講演が行われました。

2025年4月24日 一般社団法人先制医療推進機構SPECIAL SEMINAR 東京

[筆頭] 井上 啓史

「最先端の癌医療 — ALAを用いた光線医療—光による癌のスクリーニング！診断！そして治療！」

2025年5月15日 第42回日本呼吸器外科学会総会 東京

[筆頭] 宮崎 涼平

高位肋骨後方浸潤を伴う局所浸潤肺癌に対する手術における当科の工夫—ICGを用いた切除ラインの決定—

光線医療センター ニュースレター 2025年 5月 26日 発行

発行責任者・編集責任者：井上 啓史

(高知大学医学部 光線医療センター センター長)

文責：福原 秀雄<https://www.kochi-u.ac.jp/kms/CPDM/index.html>